



FSSI
Research Report

Kanazawa University

2022. 4

Topic



世界大学ランキング ～「金沢大学」の順位を向上させるためには～

本号では、世界大学ランキングの概要と本学のランキングの推移について報告します。世界大学ランキングは留学生が国内の大学を選定するための一つの指標として活用されており、大学の国際化には欠かせない指標です。

世界大学ランキングの種類

世界大学ランキングは、タイムズ・ハイヤー・エデュケーション (THE) が公表する THE 世界大学ランキング が有名ですが、その他にも主要なランキングとして、QS 世界大学ランキング、世界大学学術ランキング (ARWU) があります。それぞれのランキングでは用いる指標が異なっており、THE と QS は研究者間の評判を重視し、ARWU はノーベル賞受賞者数等の世界的な業績を重視する傾向があります。金沢大学では3つのランキングの内、QS のランキングが最も高くなっています (図1)。

世界大学ランキングが公表されると、国内でも多くのニュースに取り上げられます。本号では国内で有名な THE 世界大学ランキングにおける本学の推移について報告します。

国内の主要な大学のランキングの推移

国内の主要な大学の2016年から2022年のTHE世界大学ランキングの推移を図2に示します。

金沢大は2016年の国内15位(世界では501-600位)から2022年には37位(世界では1,001-1,200位)にまで落ち込んでいます。同様に順位が落ち込んでいる大学は、千葉大学(2016年34位→2022年38位)、岡山大学(37位→41位)、熊本大学(35位→39位)、長崎大学(32位→40位)等があります。

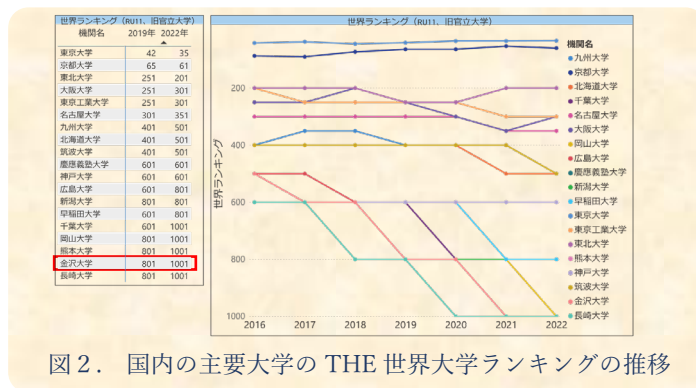
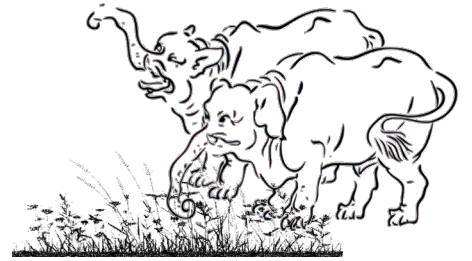


図2. 国内の主要大学のTHE世界大学ランキングの推移

ランキング名	略称	公表元	指標	金沢大学の順位
THE世界大学ランキング (2004年～)	THE	タイムズ・ハイヤー・エデュケーション (英国)	<ul style="list-style-type: none"> 研究者による教育評価 (15.0%)、研究評価 (19.5%) : アンケート調査 論文被引用数 (32.5%) 外国人教員比率 (3.0%)、外国人学生比率 (2.0%) 教員当たり学部学生数 (4.5%) 学生授与数当たり博士授与数比率 (2.3%) 博士授与数 (6.0%)、収入 (2.3%) 教員当たり研究収入 (5.3%)、論文数 (4.5%)、産学連携収入 (2.5%) 研究収入中の公的資金の割合 (0.8%) 	世界: 1001-1200 位 国内: 32 位 (2022年)
QS世界大学ランキング (2010年～)	QS	英国大学評価機関・クアックアレ・シモンズ (英国)	<ul style="list-style-type: none"> 学術査読・評価 (40%) : アンケート調査 論文被引用数 (20%) 外国人教員比率 (5%)、外国人学生比率 (5%) 教員当たり学部学生数 (20%) 雇用の評判 (10%) 新卒採用者による評価 	世界: 601-650 位 国内: 24 位 (2022年)
世界大学学術ランキング (2003年～)	ARWU (Academic Ranking Of World Universities)	上海交通大学⇒Shanghai Ranking Consultancy (中国)	<ul style="list-style-type: none"> 論文被引用数 (20%) 受賞卒業生の数 (10%) ノーベル賞、フィールズ賞を受賞した卒業生数 受賞スタッフ数 (20%) ノーベル賞、フィールズ賞を受賞した教員数 被引用研究者数 (20%) 21の領域分野において引用率の高い研究者の数 Nature誌とScience誌論文数 (20%) 両雑誌に発表された論文の数 規模 (10%) 総合スコアをフルタイムのスタッフ数で割った数 (人文系の業績は含まず、科学分野のみの業績でランキング) 	世界: 701-800 位 国内: 21-25 位 (2021年)

図1. 世界大学ランキングの種類と用いる指標および本学の順位

Topic



ランキングを維持している大学

主要な大学の2019年と2022年のTHE世界大学ランキングを図3に示します。2019年からランキングが上昇している大学は3校(東京、京都、東北)、一定であるのは3校(慶応義塾、神戸、新潟)となっており、その他の多くの大学のランキングは下落傾向にあります。

ランキングが上昇もしくは一定である大学は、どのようにして順位を維持しているのでしょうか。図4では、2016年からのランキングの元となる指標の推移を示しています。東北大学では、被引用数が低下しているものの、産業界収入や、研究力(主に外部からの研究評価)、国際性が上昇しています。神戸大学と新潟大学では被引用数が大きく上昇しています。

一方で、金沢大学は被引用数が低下しているとともに、その他の指標については大きな変化がありません。このように現在の状態を維持しているだけでは、相対的にランキングが低下していくことが分かります。特に近年は中国を始めとする海外の大学の順位が上昇傾向にあります。

ランキングを改善するためには？

金沢大学と競合している主要な大学の指標の推移を図5に示します。他大学と比較すると、金沢大学では、被引用数の改善はもちろんのこと、産業界収入、研究力(主に外部からの研究評価)に向上の余地があると考えられます。

表1では3大学(金沢、神戸、岡山)の2022年の指標別の得点を示しています。金沢大学は、「研究力」を20~25、「被引用」を30~40、「産収入」を50~60を目標とすることで、今後ランキングの向上が望めます。

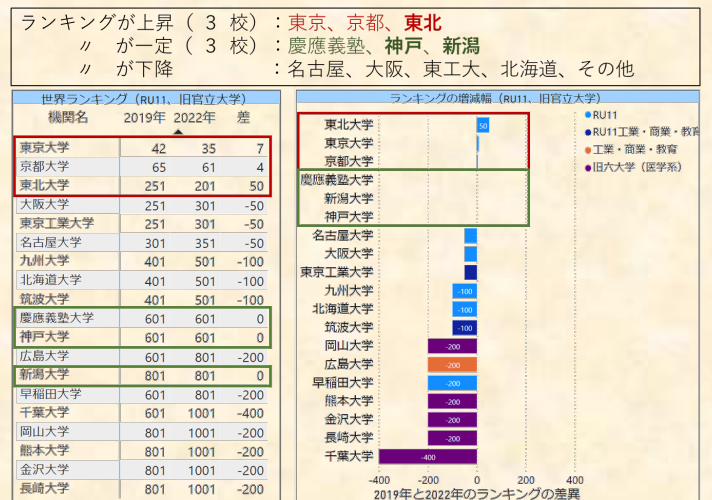


図3. 主要な大学の世界大学ランキングの2019年と2022年との比較

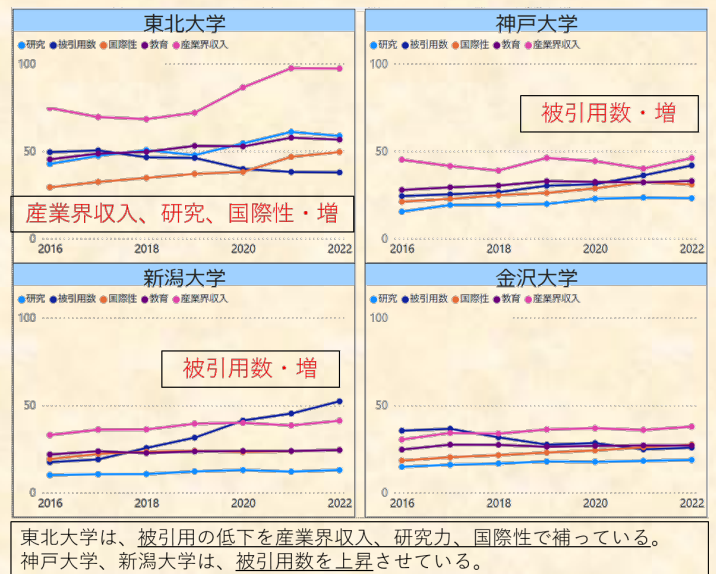


図4. 評価指標別の得点の推移(2016年から2022年)

Topic



共同研究実施のための支援

産業界からの収入の確保には企業との共同研究が欠かせません。FSSI では企業等との共同研究を促進するために様々な支援をおこなっています。また、知財に関する相談も受け付けています。「企業と共同研究を行いたい、どのように進めればよいか分からない」、「知財の取り扱いを知りたい」等々、どのようなことでも結構です。お気軽にご相談ください。

ご相談は下記のメールアドレスにご連絡ください。

FSSI : o-fsi@adm.kanazawa-u.ac.jp

編集者コメント

科学研究費助成事業や外部研究事業等についての情報を分析し、研究者の皆様広く発信するために、「FSSI Research Report」を毎月発行しています。レポートに記載の分析結果詳細やアーカイブを[ホームページ](#)に掲載していますので、ぜひご覧ください。

ご紹介した世界大学ランキングは、ランキングその

ものの意義について様々な議論がありますが、少なくとも海外の研究者が日本の大学を評価するための情報の一つであることは間違いありません。また、国内においても大学の知名度（ブランド力）を高めるための重要な要素の一つです。

FSSI では共同研究を始め、様々な支援を行っていますので、困りごとがありましたら当機構まで是非ご相談ください（池田）。

分析結果やレポートのアーカイブ

<https://kanazawa-fssi.com/ir-analysis/>

【お問い合わせ】

金沢大学先端科学・社会共創推進機構（FSSI）

✉ : kanazawa-fssi-ir@kanazawa-fssi.com

この桜の品種は何でしょうか。

校内ではいくつか異なる品種が見られます。

(2022年4月12日撮影・角間キャンパスにて)

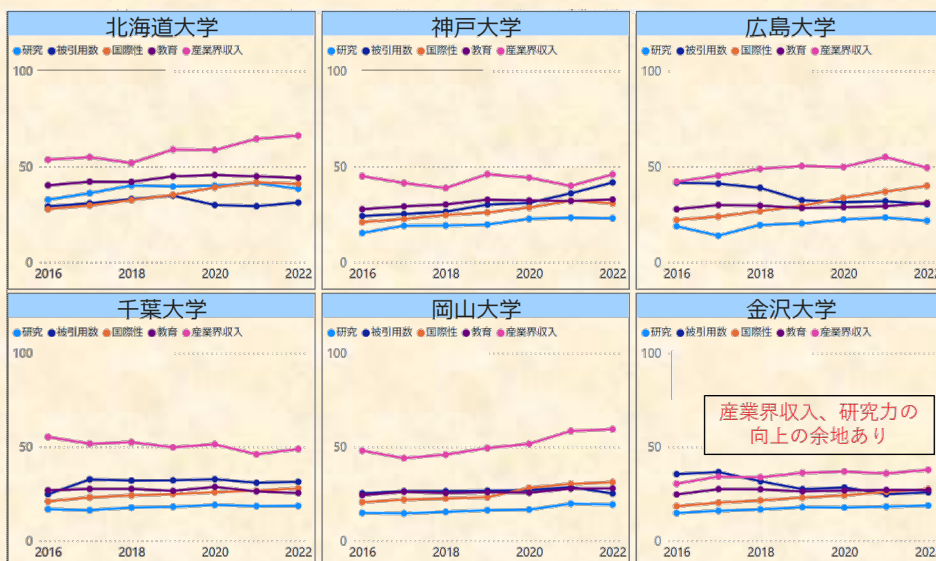


表1. 評価指標別の得点 (2022年)

	研究力	被引用	産収入	総合
金沢大学 (1001-1200位)	15.1	27.6	45.2	24.3
神戸大学 (601-800位)	23.1	41.8	46.0	33.1
岡山大学 (1001-1200位)	19.3	25.2	59.4	25.4

図5. 金沢大学と競合している主要な大学の評価指標の得点推移